

賀川ハル 社会事業家。賀川豊彦の妻。夫に従って活動し、死別後も生涯奉仕救済活動を行った。

かがわはる

初の対等条約1888 = 神奈川県横須賀で、小間物屋芝房吉の長女に生まれる。母はむら。後年はる子、春子と名のる。

帝国憲法発布1889 = 1歳 :

母方の祖父は浦賀奉行所勤めの土族で、維新後質屋営み、父房吉は婿養子。

なに不自由なく育てられていたが、

日清戦争始・1894 = 6歳 :

白馬会・・・1896 = 8歳 : 妹フミが誕生。

八幡製鉄始・1897 = 9歳 :

子規句歌革新1898 = 10歳 : 妹ヤヘが誕生。

小学校在学中に、家が三度も類焼し、その都度家業も変わるうち、家計も苦しくなり、

教科書疑獄・1902 = 14歳 : 妹ウタが誕生。東京豊島小学校卒業すると、東京日本橋の相場師の家に女中奉公、

日比谷公園・1903 = 15歳 : 父が横浜の義兄の印刷会社に勤めると、クリスチャンだった伯父に引き取られ、女子住吉小学校に入る。

日露戦争始・1904 = 16歳 : 印刷会社拡大のため、父が神戸に転勤、一家で転居し、印刷女子工員になる。

日露戦争終・1905 = 17歳 :

満鉄発足・・・1906 = 18歳 :

この工場では。毎週月曜日にキリスト教の集会が行われていたが、なお、_キリスト教に不審を抱くうち、

大逆事件判決1911 = 23歳 : 同年の賀川豊彦のスラム救済事業を知り、仕事を続けながら奉仕活動に従事。

明治天皇没・1912 = 24歳 : 賀川豊彦を信仰に導いたマイアーズにより、受洗。

大正政変・・・1913 = 25歳 : 縁談が起こって相談した豊彦自身から逆に申し込まれ、熟慮の末、結婚。夫から様々な学問を学びながら、スラムに住み巡回看護婦の仕事をするうち、悪性のトラホームに感染、右目は失明状態となった。

第一次大戦始1914 = 26歳 : 賀川の活動に協力してくれて定期的に送金してくれていたアメリカ人からの援助が得られなくなって、事業を縮小。_豊彦の渡米を機に、次に備えて、横浜共立女子神学校に入学、

21ヶ条要求・1915 = 27歳 : この間、母や妹ヤヘが手伝ってくれ、

ロシア革命・1917 = 29歳 : この年、ヤヘが受洗。_卒業、眼の手術をうける。

大暴落・・・1920 = 32歳 : *処女作「貧民窟物語」刊行。日本基督教女子青年会機関誌にも寄稿。この年、夫の「死線を越えて」出版。

原敬首相暗殺1921 = 33歳 : *神戸の川崎・三菱両造船所の労働争議に、豊彦が総指揮者となるも失敗に終わるなか、同志と覚醒婦人協会を組織、会長として救済活動にあたり、

水平社結成・1922 = 34歳 : 長男を出産。_機関誌「覚醒婦人」発刊。夫とともに、財団法人{イエス団}を設立し、理事となる。

関東大震災・1923 = 35歳 : 「女中奉公と女工生活」出版。_関東大震災の被災者援護のため、東京に転居し、救済事業に従事。

護憲三派圧勝1924 = 36歳 :

治安維持法・1925 = 37歳 : 長女を出産。

世界恐慌・・・1929 = 41歳 : 次女を出産。

満州事変・・・1931 = 43歳 : _松沢幼稚園を開設、

国際連盟脱退1933 = 45歳 :

日中戦争始・1937 = 49歳 :

健保+総動員1938 = 50歳 : _福祉法人{雲柱社}を設立し、理事、

日米開戦・・・1941 = 53歳 :

・・・1942 = 54歳 :

敗戦・・・1945 = 57歳 :

独立回復・・・1951 = 63歳 :

55年体制始・1955 = 67歳 : 「太陽地に落ちず」出版。

国連加盟・・・1956 = 68歳 : 日本基督教婦人矯風会の理事に就任。

安保闘争・・・1960 = 72歳 : *夫と死別、イエス団、雲柱社の理事長として夫の事業を引継いだ。

全共闘・・・1969 = 81歳 :

・・・1981 = 93歳 : *69年間に及ぶ社会福祉活動の功績により、名誉都民として顕彰され、

中曽根内閣・1982 = 94歳 : _没した。

インターネット「日本キリスト教女性史」ホームページほか、